

# 提出議案と

# 審議結果

## 決算認定議案

決算認定とは、歳入歳出予算の執行の実績である決算について審査し、収入、支出が適法かつ正当に行われたかを確認するものです。9月議会の会期中に、決算特別委員会の設置から議決（決算の認定）までを行いました。

### 決算特別委員会

委員長	松尾万葉香
副委員長	大澤 博行
委員	和田 貴弘
委員	金子 博
委員	加藤 大輔
委員	三木 伸也
委員	佐藤 真
委員	田中まどか

(議案第42号)

### 令和3年度日高市一般会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額が21億4千321万2千136円、歳出総額が208億6千522万1千60円で、歳入歳出差

引額は、22億7千799万1千76円である。

(全員賛成で認定)

(議案第43号)

### 令和3年度日高市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額が63億9千308万8千401円、歳出総額が63億384万6千428円で、歳入歳出差引額は、8千924万1千973円である。

(賛成多数で認定)

## 討論

#### 議案第43号 反対討論

本決算の歳入における繰入金金は、前年度に比べて額で1億524万8千円、率で45.51%増えており、一般会計を圧迫する面があるものの、他の社会保険に比べて負担が大きい国民健康保険負担軽減のための繰入金増加は大切なことから評価できる。

しかし、保険給付費全体や一人当たりの費用額は増加し

ており、収入が減少する自営業者や非正規雇用者などの被保険者負担軽減のために、在庫負担を根本的に増やす必要があるが、令和3年度は県全体では推計収入額で30%弱と未だ不十分な状態である。以上から、本決算は依然として加入者の大きな負担に依存するものと考えられ、本議案に反対する。

#### 議案第43号 賛成討論

国民健康保険制度は、地域医療の確保と地域住民の健康維持増進のために重要な役割を果たしている。国民健康保険の運営状況は、高齢化の進展などにより、令和3年度は令和2年度と比較して、世帯数で302世帯3.5%減、被保険者数で620人4.6%と減少する一方、1人当たりの医療費の増加傾向がみられる状況である。

本決算では、被保険者の医療受診回数回復傾向などから、保険給付費が令和2年度よりも2億302万7千860円4.6%増加したが、県支出金により医療費が確保され、適切な給付が行われた。

このように令和3年度日高市国民健康保険特別会計は、財源の確保とともに安定した

制度運営を行っているものと評価できる。以上のことから、本議案に賛成する。

(議案第44号)

### 令和3年度日高市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額が7億5千925万4千825円、歳出総額が7億5千505万5千248円で、歳入歳出差引額は、419万9千577円である。

(賛成多数で認定)

## 討論

#### 議案第44号 反対討論

令和3年度分の後期高齢者医療保険料は、令和2年度と同様に平成30年度・令和元年度に比べて均等割額が同じ4万1千700円、所得割率が0.1%引き上げられ、賦課限度額は2万円引き上げられた64万円になっている。均等割額の上昇を抑えて所得が少ない人に配慮した点は評価できるが、賦課限度額が平成22年からの10年間で14万円も引上げられたことは、後期高齢者にとって大きな負担をかけていると言わざるを得ない。

後期高齢者医療制度の円滑

な運用のためには、国の責任で十分な財政措置を講じて保険料の上昇を抑制することが必要である。以上の理由から本議案に反対する。

(議案第45号)

### 令和3年度日高市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額が42億2千35万6千66円、歳出総額が41億4千971万4千192円で、歳入歳出差引額は、7千64万1千874円である。

(賛成多数で認定)

## 討論

#### 議案第45号 反対討論

介護保険料基準額が県平均

## 討論

#### 議案第45号 反対討論

介護保険料基準額が県平均